

2 教職課程

中学校、高等学校の教員になろうとする学生は、教育職員免許法に基づく教育職員免許状を取得する必要があります。本学は、文部科学省「免許状授与の所要資格を得させるための課程認定」を受けた教職課程を開設しています。

教育職員免許状の授与を受けるためには、大学卒業時に授与される学士の学位を取得するとともに、所定の科目の単位を修得することになります。必要な科目及び単位数は免許状により異なるので、十分注意してください。また、「教育実習」を履修するためには一定の条件があり、科目登録とは別に仮登録手続が必要です（P.223参照）。さらに、「介護等体験」（中学校教員免許取得要件）を行うためにも厳しい条件がありますので、確認してください（P.221参照）。在学中にこれらすべての要件をみとすことにより、卒業と同時に教育職員免許状が授与されます。

大学は、基礎資格及び所定の科目の単位修得状況を証明しますが、免許状を授与する権限は都道府県教育委員会にあります。本学では、岩手県教育委員会に、学生に代わって一括申請しています。授与申請手続きの説明会を卒業学年の12月に行いますので必ず出席してください（授与権者は出身都道府県にかかわらず岩手県教育委員会となります）。

教員を目指す学生は、大学での単位修得、介護等体験、教育実習と段階的に学修を進めて免許状を取得するとともに、志望先の教員採用試験を受験することになります。周知のとおり学校教育を取り巻く環境は厳しく社会の変化も急速です。所定の授業科目の単位を修得することのみで満足することなく、英語文化学科専門科目及び教職科目を始め、幅広く知識を吸収し自ら人間性を豊かに培っていくよう日々研鑽することが肝要です。

(1) 本学が課程認定されている免許状の種類と所要単位

免許状の種類	教科	基礎資格	単位数	①	②	③	④
				施行規則第66条の6関係	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	英語	学士の学位を有すること	免許法上単位数	8	28	27	4
			本学指定単位数	8	36	29	0
免許法上単位数	8		24	23	12		
本学指定単位数	8		36	25	0		

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める基準		本学開講科目				
科目区分	単位数	区分	授業科目	単位数		所要資格を充たすための履修方法
				必修	選択	
日本国憲法	2	教養	日本国憲法		2	必修
体育	2	教養	体育理論		2	} 2単位選択必修
			体育実技 I A		1	
			体育実技 I B		1	
外国語コミュニケーション	2	専門	*Active English I (Fundamentals) A *Active English I (Fundamentals) B		2	} 2単位選択必修 卒業に要する選択必修単位で充足できる
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	教養	情報処理基礎 情報処理応用		2 2	} 2単位選択必修

*は教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「外国語コミュニケーション」に充当する。

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：中学校一種 教科：英語

【中一英】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考	
		一種	本学			必修	選択		
②	教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	28	36	Practical English Grammar I Advanced	2	●	○	2単位選択必修
					Practical English Grammar I Intermediate	2	●	○	
					英語学入門Ⅰ	2	●		
					英語学入門Ⅱ	2	●		
		英語文学			Cultural Reading I Advanced	2	●	○	2単位選択必修
					Cultural Reading I Intermediate	2	●	○	
					イギリスの文学	2	●		
					アメリカの文学	2	●		
		英語コミュニケーション			Active English I (Fundamentals) A ※I	2	●	○	2単位選択必修
					Active English I (Fundamentals) B ※I	2	●	○	
					Active English I (Practice) ST	2	●	○	2単位選択必修
					Active English I (Practice) Advanced	2	●	○	
					Active English I (Practice) Intermediate	2	●	○	
					Active English I (Practice) Development	2	●	○	
					Active English II (Fundamentals) A	2	●	○	2単位選択必修
					Active English II (Fundamentals) B	2	●	○	
					Active English II (Practice) ST	2	●	○	2単位選択必修
					Active English II (Practice) Advanced	2	●	○	
		Active English II (Practice) Intermediate			2	●	○		
		Active English II (Practice) Development			2	●	○		
異文化理解	コミュニケーション入門Ⅰ	2	●						
	コミュニケーション入門Ⅱ	2	●						
	イギリス文化入門Ⅰ	2	●						
	アメリカ文化入門Ⅰ	2	●						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	2	●		2年前期				
	英語科教育法Ⅱ	2	●		2年前期				
	英語科教育法Ⅲ	2	●		2年後期				
	英語科教育法Ⅳ	2	●		2年後期				
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期	
				教育史	2	●	○	3年後期	
				教職概論	2	●		1年後期	
				教育経営	2	●		4年前期	
				教育法規	2	●	○	3年後期	
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期	
				特別支援教育概論	2	●		2年後期	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	12	道徳教育の指導法	2	●		2年後期	
				総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期	
				特別活動の指導法	1	●		3年前期	
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期	
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期	
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期	
	教育実践に関する科目	5	5	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期	
				教育実習A	2	●		3年前期	
教育実習B				2	●		3年前期		
2		2	教職実践演習（中・高）	2	●		4年後期		
④	大学が独自に設定する科目	4	0						
合 計		59	65			53	12		

● 必修 ○ 選択必修 ○ 選択

※1の科目は教育教員免許法施行規則第66条の6に定める科目「外国語コミュニケーション」に充当する。

②～④教科及び教職に関する科目
 免許状の種類：高等学校一種 教科：英語

【高一英】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考
		一種	本学			必修	選択	
②	英語学	24	36	Practical English Grammar I Advanced	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Practical English Grammar I Intermediate	2	●	◎	
	英語学入門Ⅰ			2	●			
	英語文学			Cultural Reading I Advanced	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Cultural Reading I Intermediate	2	●	◎	
				イギリスの文学	2	●		
				アメリカの文学	2	●		
	英語コミュニケーション			Active English I (Fundamentals) A ※1	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Active English I (Fundamentals) B ※1	2	●	◎	
				Active English I (Practice) ST	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Active English I (Practice) Advanced	2	●	◎	
				Active English I (Practice) Intermediate	2	●	◎	
				Active English I (Practice) Development	2	●	◎	
				Active English II (Fundamentals) A	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Active English II (Fundamentals) B	2	●	◎	
				Active English II (Practice) ST	2	●	◎	} 2単位選択必修
				Active English II (Practice) Advanced	2	●	◎	
	Active English II (Practice) Intermediate			2	●	◎		
	Active English II (Practice) Development			2	●	◎		
	異文化理解			コミュニケーション入門Ⅰ	2	●		
コミュニケーション入門Ⅱ		2	●					
イギリス文化入門Ⅰ		2	●					
アメリカ文化入門Ⅰ		2	●					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	2	●		2年前期			
	英語科教育法Ⅱ	2	●		2年前期			
	英語科教育法Ⅲ	2	●		2年後期			
	英語科教育法Ⅳ	2	●		2年後期			
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期
				教育史	2	●	○	3年後期
				教職概論	2	●		1年後期
				教育経営	2	●		4年前期
				教育法規	2	●	○	3年後期
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期
				特別支援教育概論	2	●		2年後期
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	10	総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期
				特別活動の指導法	1	●		3年前期
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期
教育実践に関する科目	3	3	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期	
			教育実習A	2	●		3年前期	
			教育実習B	2	●	○	3年前期	
	2	2	教職実践演習（中・高）	2	●		4年後期	
④	大学が独自に設定する科目	12	0		0			
合計		58	61			49	12	

● 必修 ◎ 選択必修 ○ 選択

※1の科目は教育教員免許法施行規則第66条の6に定める科目「外国語コミュニケーション」に充当する。

日本文学科

(1) 本学が課程認定されている免許状の種類と所要単位

免許状の種類	教科	基礎資格	単位数	①	②	③	④
				施行規則第66条の6 関係	教科及び教科法の指導目に関する目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	国語	学士の学位を有すること	免許法上単位数	8	28	27	4
			本学指定単位数	8	46	29	0
高等学校教諭一種免許状	国語		免許法上単位数	8	24	23	12
			本学指定単位数	8	42	25	0
高等学校教諭一種免許状	書道		免許法上単位数	8	24	23	12
			本学指定単位数	8	46	25	0

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める基準		本学開講科目				
科目区分	単位数	区分	授業科目	単位数		所要資格を充たすための履修方法
				必修	選択	
日本国憲法	2	教養	日本国憲法		2	必修
体育	2		体育理論		2	} 2単位選択必修
			体育実技 I A		1	
			体育実技 I B		1	
外国語コミュニケーション	2		英語コミュニケーションI		2	} 2単位選択必修 卒業に要する選択必修単位で充足できる
			総合英語 I		2	
			検定英語演習 I		2	
			L L 演習 I		2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2		情報処理基礎		2	} 2単位選択必修
			情報処理応用		2	

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：中学校一種 教科：国 語

[中一四]	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考
		一種	本学			必修	選択	
②	教科及び教科の指導法に関する科目	28	46	日本語学概論Ⅰ	2	●		卒業に要する必修単位で充足できる。
				日本語学概論Ⅱ	2	●		
				日本語学演習(古典語)Ⅰ	2	●		
				日本語学演習(古典語)Ⅱ	2	●		
				日本語学演習(近現代語)Ⅰ	2	●		
				日本語学演習(近現代語)Ⅱ	2	●		
		日本文学概論Ⅰ	2	●				
		日本文学概論Ⅱ	2	●				
		古典文学史	2	●				
		近代文学史	2	●				
		古典講読(散文)	2	●				
		古典講読(韻文)	2	●				
		近現代文学講読	2	●				
		東北文学概論	2	●				
		中国文学概論	2	●				
中国文学講読	2	●						
中国文学演習	2	●						
書写書道演習Ⅰ	2	●						
書写書道演習Ⅱ	2	●						
国語科教育法Ⅰ	2	●		2年前期				
国語科教育法Ⅱ	2	●		2年後期				
国語科教育法Ⅲ	2	●		2年前期				
国語科教育法Ⅳ	2	●		2年後期				
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期
				教育史	2		○	3年後期
				教職概論	2	●		1年後期
				教育経営	2	●		4年前期
				教育法規	2		○	3年後期
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期
	特別支援教育概論	2	●		2年後期			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	12	道徳教育の指導法	2	●		2年後期
				総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期
				特別活動の指導法	1	●		3年前期
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期
	教育実践に関する科目	5	5	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期
				教育実習A	2	●		3年前期
教育実習B				2	●		3年前期	
	2	2	教職実践演習(中・高)	2	●		4年後期	
④	大学が独自に設定する科目	4	0					
合 計		59	75			75	4	

● 必修 ○ 選択

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：高等学校一種 教科：国 語

【高一国】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考
		一種	本学			必修	選択	
②	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	24	42	日本語概論Ⅰ	2	●		卒業に要する必修単位で充足できる。
				日本語概論Ⅱ	2	●		
				日本語演習（古典語）Ⅰ	2	●		
				日本語演習（古典語）Ⅱ	2	●		
				日本語演習（近現代語）Ⅰ	2	●		
				日本語演習（近現代語）Ⅱ	2	●		
	国文学（国文学史を含む。）	24	42	日本文学概論Ⅰ	2	●		
				日本文学概論Ⅱ	2	●		
				古典文学史	2	●		
				近代文学史	2	●		
				古典講読（散文）	2	●		
				古典講読（韻文）	2	●		
				近現代文学講読	2	●		
	漢文学	24	42	中国文学概論	2	●		
				中国文学講読	2	●		
				中国文学演習	2	●		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	24	42	国語科教育法Ⅰ	2	●		2年前期	
			国語科教育法Ⅱ	2	●		2年後期	
			国語科教育法Ⅲ	2	●		2年前期	
			国語科教育法Ⅳ	2	●		2年後期	
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期
				教育史	2		○	3年後期
				教職概論	2	●		1年後期
				教育経営	2	●		4年前期
				教育法規	2		○	3年後期
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	10	総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期
				特別活動の指導法	1	●		3年前期
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期
				教育相談の理論と方法	2	●		4年前期
	教育実践に関する科目	3	3	教育実習Ⅰ(前事後指導)	1	●		3年前期
				教育実習A	2	●		3年前期
				教育実習B	2		○	3年前期
2		2	教職実践演習(中・高)	2	●		4年後期	
④	大学が独自に設定する科目	12	0		0			
合 計		59	67			67	6	

● 必修 ○ 選択

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：高等学校一種 教科：書道

【高一書道】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考
		一種	本学			必修	選択	
②	書道（書写を含む。）	24	46	書写書道演習Ⅰ	2	●		
				書写書道演習Ⅱ	2	●		
				書道演習Ⅰ	2	●		
				書道演習Ⅱ	2	●		
	書道演習Ⅲ			2	●			
	書道演習Ⅳ			2	●			
	書道作品制作演習Ⅰ			2	●			
	書道作品制作演習Ⅱ			2	●			
	書道史			2	●			
	「書論、鑑賞」			2	●			
	「国文学、漢文学」			日本文学概論Ⅰ	2	●		
				日本文学概論Ⅱ	2	●		
				古典文学史	2	●		
				近代文学史	2	●		
古典講読（散文）		2	●					
古典講読（韻文）		2	●					
近現代文学講読		2	●					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	書道科教育法Ⅰ	2	●		2年前期			
	書道科教育法Ⅱ	2	●		2年後期			
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期
				教育史	2		○	3年後期
				教職概論	2	●		1年後期
				教育経営	2	●		4年前期
				教育法規	2		○	3年後期
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期
				特別支援教育概論	2	●		2年後期
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	10	総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期
				特別活動の指導法	1	●		3年前期
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期
	教育実践に関する科目	3	3	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期
				教育実習A	2	●		3年前期
				教育実習B	2		○	3年前期
		2	2	教職実践演習（中・高）	2	●		4年後期
	④	大学が独自に設定する科目	12	0				
合 計		59	71			71	6	

● 必修 ○ 選択

注記 書道の免許状を取得する場合は国語の免許状と併せて取得することが望ましい。

社会文化学科

2 教職課程

中学校、高等学校の教員になろうとする学生は、教育職員免許法に基づく教育職員免許状を取得する必要があります。本学は、文部科学省「免許状授与の所要資格を得させるための課程認定」を受けた教職課程を開設しています。

教育職員免許状の授与を受けるためには、大学卒業時に授与される学士の学位を取得するとともに、所定の科目の単位を修得することになります。必要な科目及び単位数は免許状により異なるので、十分注意してください。また、「教育実習」を履修するためには一定の条件があり、科目登録とは別に仮登録手続が必要です（P.223参照）。さらに、「介護等体験」（中学校教員免許取得要件）を行うためにも厳しい条件がありますので、確認してください（P.221参照）。在学中にこれらすべての要件をみたすことにより、卒業と同時に教育職員免許状が授与されます。

大学は、基礎資格及び所定の科目の単位修得状況を証明しますが、免許状を授与する権限は都道府県教育委員会にあります。本学では、岩手県教育委員会に、学生に代わって一括申請しています。授与申請手続きの説明会を卒業学年の12月に開きますので必ず出席してください（授与権者は出身都道府県にかかわらず岩手県教育委員会となります）。

教員を目指す学生は、大学での単位修得、介護等体験、教育実習と段階的に学修を進めて免許状を取得するとともに、志望先の教員採用試験を受験することになります。周知のとおり学校教育を取り巻く環境は厳しく社会の変化も急速です。所定の授業科目の単位を修得することのみで満足することなく、社会文化学科専門科目及び教職科目を始め、幅広く知識を吸収し自ら人間性を豊かに培っていくよう日々研鑽することが肝要です。

(1) 本学が課程認定されている免許状の種類と所要単位

免許状の種類	教科	基礎資格	単位数	①	②	③	④
				施行規則第66条の6関係	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	社会	学士の学位を有すること	免許法上単位数	8	28	27	4
			本学指定単位数	8	28	29	2
高等学校教諭一種免許状	公民		免許法上単位数	8	24	23	12
			本学指定単位数	8	24	25	10
	地理歴史		免許法上単位数	8	24	23	12
			本学指定単位数	8	24	25	10

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める基準		本 学 開 講 科 目				
科目区分	単位数	区分	授業科目	単位数		所要資格を充たすための履修方法
				必修	選択	
日本国憲法	2	教 養	日本国憲法		2	必修
体 育	2		体育理論		2	} 2単位選択必修
			体育実技 IA		1	
			体育実技 IB		1	
外国語コミュニケーション	2		英語コミュニケーションI		2	} 2単位選択必修 卒業に要する選択必修 単位で充足できる
			総合英語 I		2	
			検定英語演習 I		2	
			LL演習 I		2	
			ドイツ語初級 I		2	
			フランス語初級 I		2	
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	情報処理基礎		2	} 2単位選択必修	
		情報処理応用		2		

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：中学校一種 教科：社会

【中一社】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考		
		一種	本学			必修	選択			
②	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	28	28	歴史学	2		○	} 2科目4単位以上選択	
					ヨーロッパ史	2		○		
					アジア史	2		○		
					世界史概説	2	●			
					日本史概説	2	●			
					日本文化史	2		○		
					歴史研究法	2		○		
					地理学（地誌を含む。）	人文地理学	2	●		
						自然地理学	2	●		
						地誌学	2	●		
		「法学、政治学」	法学	2		◎	} 1科目 選択必修			
			政治学	2		◎				
		「社会学、経済学」	国際法	2		○	} 1科目 選択必修			
			国際政治学	2		○				
			比較政治学	2		○				
			社会学概論	2		◎				
			経済学	2		◎				
			現代社会論	2		○				
			情報社会論	2		○				
			環境社会論	2		○				
			国際経済学	2		○				
			社会調査	2		○				
		社会学理論	2		○					
		文化人類学	2		○					
		国際社会論	2		○					
		社会人類学	2		○					
		現代人類学	2		○					
		「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	2		◎	} 1科目 選択必修			
倫理学	2			◎						
宗教学	2			◎						
現代思想	2			○						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		●	2年前期					
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2		●	2年後期					
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		●	2年前期					
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2		●	2年後期					
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2	●		1年前期		
				教育史	2		○	3年後期		
				教職概論	2	●		1年後期		
				教育経営	2	●		4年前期		
				教育法規	2		○	3年後期		
				発達と教育の心理学	2	●		1年後期		
				特別支援教育概論	2	●		2年後期		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	12	道徳教育の指導法	2	●		2年後期		
				総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期		
				特別活動の指導法	1	●		3年前期		
				教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期		
				教育におけるICT活用	2	●		1年後期		
				生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期		
	教育相談の理論と方法	2	●		4年前期					
	教育実践に関する科目	5	5	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期		
教育実習A				2	●		3年前期			
教育実習B				2	●		3年前期			
2		2	教職実践演習（中・高）	2	●		4年後期			
④	大学が独自に設定する科目	4	2				最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」について、併せて2単位以上を修得			
合計		59	59			47	12			

● 必修 ◎ 選択必修 ○ 選択

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：高等学校一種 教科：公民

【高一公民】	各科目に含めることが必要な事項	単位数		科目名	単位数	要件		備考
		一種	本学			必修	選択	
②	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	24	24	法学	2		◎	A A,Bいずれかの組み合わせにより4単位選択必修 B
				国際法	2		◎	
	政治学			2		◎		
	国際政治学			2		◎		
	比較政治学			2		○		
	「社会学、経済学（国際経済を含む）」			社会学概論	2		◎	A A,Bいずれかの組み合わせにより2～4単位選択必修 B
				経済学	2		◎	
				国際経済学	2		◎	
				現代社会論	2		○	
				情報社会論	2		○	
				環境社会論	2		○	
				社会調査	2		○	
社会学理論		2		○				
文化人類学		2		○				
国際社会論		2		○				
社会人類学	2		○					
現代人類学	2		○					
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学	2		◎	1科目 選択必修			
	倫理学	2		◎				
	宗教学	2		◎				
	社会心理学	2		○				
	現代思想	2		○				
	社会思想	2		○				
	応用倫理学	2		○				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）」	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		●	2年前期			
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2		●	2年後期			
③	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育学概論	2		●	1年前期
				教育史	2		○	3年後期
				教職概論	2		●	1年後期
				教育経営	2		●	4年前期
				教育法規	2		○	3年後期
				発達と教育の心理学	2		●	1年後期
				特別支援教育概論	2		●	2年後期
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8	10	総合的な学習の時間の指導法	1		●	3年前期
				特別活動の指導法	1		●	3年前期
				教育課程及び方法・技術	2		●	2年後期
				教育におけるICT活用	2		●	1年後期
				生徒・進路指導の方法	2		●	2年後期
教育相談の理論と方法				2		●	4年前期	
教育実践に関する科目	3	3	教育実習事前事後指導	1		●	3年前期	
			教育実習A	2		●	3年前期	
	2	2	教育実習B	2		○	3年前期	
			教職実践演習（中・高）	2		●	4年後期	
④	大学が独自に設定する科目	12	10					最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて10単位以上を修得
合計		59	59			29	30	

● 必修 ◎ 選択必修 ○ 選択

②～④教科及び教職に関する科目

免許状の種類：高等学校一種 教科：地理歴史

【高一地歴】	各科目に含めることが必要な事項		単位数		科目名	単位数	要件		備考
			一種	本学			必修	選択	
②	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	24	24	日本史概説	2	●		5科目10単位以上選択
					日本文化史	2		○	
					古文書学Ⅰ	2		○	
					古文書学Ⅱ	2		○	
					ヨーロッパ史	2		○	
					アジア史	2		○	
			世界史概説	2	●				
			フランス文化	2		○			
			ドイツ文化	2		○			
			アジア文化	2		○			
			オリエント史	2		○			
			東西交渉史	2		○			
		人文地理学・自然地理学	2	●					
		自然地理学	2	●					
		地誌学	2	●					
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	●		2年前期
					社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	●		2年後期
③	教育の基礎的理解に関する科目		10	10	教育学概論	2	●		1年前期
					教育史	2		○	3年後期
					教職概論	2	●		1年後期
					教育経営	2	●		4年前期
					教育法規	2		○	3年後期
					発達と教育の心理学	2	●		1年後期
					特別支援教育概論	2	●		2年後期
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		8	10	総合的な学習の時間の指導法	1	●		3年前期
					特別活動の指導法	1	●		3年前期
					教育課程及び方法・技術	2	●		2年後期
					教育におけるICT活用	2	●		1年後期
					生徒・進路指導の方法	2	●		2年後期
	教育相談の理論と方法	2	●		4年前期				
教育実践に関する科目		3	3	教育実習事前事後指導	1	●		3年前期	
				教育実習A	2	●		3年前期	
				教育実習B	2		○	3年前期	
				教職実践演習（中・高）	2	●		4年後期	
④	大学が独自に設定する科目		12	10	歴史学	2		○	1年前期
					考古学概論	2		○	1年前期
					歴史研究法	2		○	3年前期
合 計			59	59			39	20	

● 必修 ○ 選択

児童教育学科

2 教職課程

幼稚園、小学校の教員になろうとする者は、教育職員免許法に基づく教育職員免許状を取得していなければなりません。本学では、学科ごとに教員の免許状が取得できるよう「免許状授与の所要資格を得させるための課程認定」を受け教職課程を開設しています。

大学卒業と同時に学士の学位が授与されますが、教育職員免許状の授与を受けるためには、学士の学位を取得していることが第一条件です。また、それぞれ免許状ごとに修得しなければならない教職課程の科目と単位修得について必要な事項が『盛岡大学教職課程履修要領』（pp.253-258）に定められています。まず、教職課程履修要領に示されるように、希望する免許状ごとに教職課程の履修登録が必要になります。希望する免許状の変更についても所定の手続きが必要です。児童教育学科は専門科目で教職課程の科目が開設されていますので、卒業単位としての通常の履修登録でも専門科目としての単位を修得できますが、教職課程の履修登録をしなければ、大学は教職科目としての単位修得状況を証明できません。教職課程の履修登録後は、例えば小学校教諭一種免許状は「教科及び教科の指導法に関する科目」、幼稚園一種免許状は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」、また、幼小どちらも「教育の基礎的理解に関する科目等」や「大学が独自に設定する科目」を履修することができます。さらに、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の修得と介護等体験をしていること（小学校及び中学校教諭免許状対象）も免許状授与の要件になっています。また、「教育の基礎的理解に関する科目等」の中の「教育実習」の履修にあたっては、本学では厳しい条件（『教育実習の履修の承認に関する内規』 pp.259-263）を設けています。在学中にこれらの所要資格を充たすと、卒業と同時に教育職員免許状が授与されます。

大学は、基礎資格と所定の科目の単位修得状況を証明しますが、実際に免許状を授与するのは都道府県教育委員会です。本学では、岩手県教育委員会に学生に代わって一括申請しています。教育委員会に授与申請する手続きのための説明会を卒業学年の12月に開きますので、必ず出席してください。出席しない場合は、自己の責任において免許状授与権者に個人申請を行うこととなります。なお、授与権者は岩手県教育委員会となります。

教員を目指す者は、大学での単位の修得、介護等体験（小学校及び中学校教諭免許状対象）、教育実習、教員採用試験と段階を経ていきます。周知のとおり学校教育を取り巻く環境は厳しく、現代は以前にもまして、クオリティ（質）が問われる時代でもあります。所定の授業科目の単位を修得する際には、GPAを意識したクオリティの高い単位修得で、真の実力を身につけ、幅広く知識を吸収し自ら人間性を豊かに培っていくよう日々研鑽することが肝要です。

(1) 本学が課程認定されている免許状の種類と所要単位

免許状の種類	基礎資格	単位数	①	②	③			④
			施行規則第66条の6に定める科目	教科・領域及び教科・保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等			大学が独自に設定する科目
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	免許法上単位数	8	30	10	10	7	2
		本学指定単位数	8	30	12	10	7	0
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	免許法上単位数	8	16	10	4	7	14
		本学指定単位数	8	17	12	5	7	10

児童教育学科では小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状の二種類の免許状が課程認定されています。所要単位については『盛岡大学教職課程履修要領』(pp.253-258)に定める別表Ⅳ(小・幼一種免許状)と別表Ⅸ(小一種免許状)、並びに別表Ⅹ(幼一種免許状)を参照してください。

なお、「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合は、次の優遇措置が認められています。

第一に「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合は、「小一種免」の「特別活動論」と「初等生活科教育法」の2科目の単位を「幼一種免」の保育内容の指導法7科目の単位で充当できます。

第二に「小一種免」と「幼一種免」の両方を取得する場合は、「幼一種免」の「保育・教育課程の計画と評価」の単位を「小一種免」の「教育課程論」の単位で充当できます。但し、保育・幼児教育コースの学生は、保育士資格を取得することが推奨されていますので、「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合でも、「保育・教育課程の計画と評価」と「教育課程論」どちらも履修してください。

第三に、「小一種免」と「幼一種免」の両方を取得する場合は、「幼一種免」の「保育内容の指導法」7科目のうち3科目までを「小一種免」の「初等教科教育法」及び「特別活動論」11科目の単位で充当できます。但し、保育・幼児教育コースの学生は、保育士資格を取得することが推奨されていますので、「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合でも、「保育内容の指導法」7科目すべてを履修してください。

これらの「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合に認められている優遇措置の科目は、教育実習の履修要件の科目でもあります。例えば、「幼一種免」と「小一種免」の両方を取得する場合、2年次始めに3年次実習(主たる実習)を仮登録しますので、選んだ実習先の実習要件の科目は2年次終了時に良好な成績で単位修得できるようしっかりと履修計画を立ててください。

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める基準		本 学 開 講 科 目				
科目区分	単位数	区分	授業科目	単位数		所要資格を充たすための履修方法
				必修	選択	
日本国憲法	2	教養科目	日本国憲法		2	必修
体 育	2		体育理論		2	} 2単位選択必修
			体育実技ⅠA		1	
			体育実技ⅠB		1	
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ		2	} 2単位選択必修 卒業に要する選択必修単位 で充足できる	
		総合英語Ⅰ		2		
		検定英語演習Ⅰ		2		
		LL演習Ⅰ		2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2		情報処理基礎	2		} 2単位選択必修 卒業に要する必修単位で 充足できる
			情報処理応用		2	

②～④ 教科及び教職に関する科目

ア 免許状の種類：小学校一種

免許法施行規則に定める基準		本学開講科目					
科目区分	単位数	授業科目	単位数	要件		履修方法	
				必修	選択		
② 教科及び教科の指導法に関する科目	30	国語概論（書写を含む）	2		○	◎ 2科目4単位以上選択必修	
		社会科概説	2		○		
		数学概論	2		○		
		理科概説	2		○		
		生活科概説	2		○		
		児童音楽論	2		○		
		児童音楽演習Ⅰ	2		◎		
		児童美術論	2		◎		
		児童美術演習Ⅰ	2		◎		
		家庭科概説	2		○		
		体育概論	2		○		
		児童体育演習Ⅰ	2		◎		
		初等英語	1	●			● 14科目26単位必修
		初等英語演習	2	●			
		小学校全科の内容及び構成	2	●			
		小学校教科のプログラミング教育	1	●			
		初等国語科教育法	2	●			
		初等社会科教育法	2	●			
		初等算数科教育法	2	●			
		初等理科教育法	2	●			
		理科教材実験	2		○		
		初等生活科教育法	2	●			
		初等音楽科教育法	2	●			
初等図画工作科教育法	2	●					
初等家庭科教育法	2	●					
初等体育科教育法	2	●					
初等英語科教育法	2	●					
③ 教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理	2	●		● 6科目12単位必修	
		児童教育学	2		○		
		学校と教育の歴史	2		○		
		教育哲学	2		○		
		教職入門	2	●			
		教育経営論	2	●			
		教育制度論	2		○		
		発達心理学	2	●			
		教育心理学	2		○		
		特別支援教育論	2	●			
③ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育論	2	●		● 7科目10単位必修	
		総合的な学習の時間の指導法（小）	1	●			
		特別活動論	1	●			
		教育方法・技術論	1	●			
		教育とICT活用	1	●			
		生徒・進路指導論	2	●			
		教育相談	2	●			
③ 教育実践に関する科目	7	教育実習事前事後指導Ⅰ	1	●		● 4科目7単位必修	
		教育実習ⅠA	2	●			
		教育実習ⅠB	2	●			
		保育・教職実践演習（幼・小）	2	●			
④ 大学が独自に設定する科目	2	臨床心理学	2		○	他区分の必修修得単位で充足できる	

● 必修 ◎ 選択必修 ○ 選択

イ 免許状の種類：幼稚園一種

免許法施行規則に定める基準		本学開講科目				
科目区分	単位数	授業科目	単位数	要件		履修方法
				必修	選択	
② 領域及び保育内容の指導法に関する科目	16	幼児と健康	1	●		●15科目17単位必修
		幼児と人間関係	1	●		
		幼児と環境	1	●		
		幼児と言葉	1	●		
		幼児と表現Ⅰ	1	●		
		幼児と表現Ⅱ	1	●		
		幼児教育法Ⅰ	2	●		
		幼児教育法Ⅱ	2	●		
		保育総論	1	●		
		保育内容・健康	1	●		
		保育内容・人間関係	1	●		
		保育内容・環境	1	●		
		保育内容・言葉	1	●		
		保育内容・表現Ⅰ	1	●		
保育内容・表現Ⅱ	1	●				
③ 教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理	2	●		●6科目12単位必修
		児童教育学	2		○	
		学校と教育の歴史	2		○	
		教育哲学	2		○	
		教職入門	2	●		
		教育経営論	2	●		
		教育制度論	2		○	
		発達心理学	2	●		
		教育心理学	2		○	
		特別支援教育論	2	●		
保育・教育課程の計画と評価	2	●				
③ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	教育方法・技術論	1	●		●4科目5単位必修
		教育とICT活用	1	●		
		子どもの理解と援助	1	●		
		教育相談	2	●		
③ 教育実践に関する科目	7	教育実習事前事後指導Ⅱ	1	●		●2科目3単位必修 ○いずれか4単位のみ選択必修
		教育実習ⅡA	1		○	
		教育実習ⅡB	3		○	
		教育実習ⅡC	2		○	
		教育実習ⅡD	2		○	
		保育・教職実践演習(幼・小)	2	●		
④ 大学が独自に設定する科目	14	保育内容の理解と方法A	2		○	○「大学が独自に設定する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目」から10単位以上選択すること
		保育内容の理解と方法B	2		○	
		保育内容総合講座	2		○	
		子ども文化Ⅰ	2		○	
		子ども文化Ⅱ	2		○	
		社会福祉	2		○	
		社会的養護Ⅰ	2		○	
		子ども家庭福祉	2		○	
		子ども家庭支援論	2		○	
		臨床心理学	2		○	

● 必修 ○ 選択必修 ○ 選択

栄養科学科

4 教職課程

(1) 栄養科学部教職科目履修課程表

栄養科学科で取得可能な教員免許状は、栄養教諭一種免許状です。

栄養教諭は、「児童・生徒の栄養の指導及び管理をつかさどる」職として、2005（平成17）年度に制度化されました。

「基礎資格」は、学士の学位を有し、栄養士法第5条の3第4号の規定により指定された管理栄養士養成課程を修了して、同法第2条第1項の規定により栄養士免許を受けていることです。これに加え、次の①～③に示す科目の単位を修得する必要があります。

①教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（11単位以上）

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記の項目に対応する本学開講科目			
		授業科目	単位数	所要資格を充たすための履修方法	開講時期
日本国憲法	2	日本国憲法	2	必修	1年後期
体育	2	体育理論	2	必修	1年前期
		体育実技ⅠA (基礎運動技能)	1	2科目から1 単位選択必修	1年前期
		体育実技ⅠB (生涯スポーツ)	1		1年後期
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	2	必修	1年前期
		総合英語Ⅰ	2	必修	1年後期
情報機器の操作	2	情報処理演習	2	必修	1年前期
計	8		12	11単位以上	

②栄養に係る教育に関する科目（4単位）

免許法施行規則に定める科目区分・ 各科目に含める必要事項		単位数	左記の項目に対応する本学開講科目			
			授業科目	単位数	所要資格を充たすための履修方法	開講時期
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育論Ⅰ	2	必修	2年後期
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項					
	食生活に関する歴史的及び文化的事項					
	食に関する指導の方法に関する事項					
計		4		4	4単位	

③教育の基礎的理解に関する科目等 (25単位以上)

免許法施行規則に定める科目区分・ 各科目に含める必要事項		単 位 数	左記の項目に対応する本学開講科目			
			授業科目	単位数	所要資格を 充たすため の履修方法	開講時期
教育の基礎的 理解に関する 科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	8	教育学概論	2	必修	1年前期
	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)		教職概論	2	必修	1年後期
	教育に関する社会的、制度的又は 経営的事項(学校と地域との連携 及び学校安全への対応を含む。)		教育経営	2	必修	4年前期
	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程		教育法規	2	選択	3年後期
	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		発達と教育の心理学	2	必修	1年後期
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを 含む。)		特別支援教育概論	2	必修	2年後期
			(教育課程及び方 法・技術)	(2)	(必修)	(2年後期)
道徳、総合的 な学習の時間 等の内容及び 生徒指導、教 育相談等に関 する科目	道徳、総合的な学習の時間及び 特別活動に関する内容	6	道徳教育の指導法	2	必修	2年後期
			特別活動の指導法	1	必修	3年前期
			総合的な学習の時 間の指導法	1	必修	3年前期
	教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)		教育課程及び方法・ 技術	2	必修	2年後期
	生徒指導の理論及び方法		視聴覚メディアと 教育	2	選択	3年後期
	教育相談(カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。)の理 論及び方法		生徒指導論	2	必修	2年後期
教育実践に関 する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習事前 事後指導	1	必修	3年後期
			栄養教育実習	2	必修	3年後期
	教職実践演習	2	教職実践演習 (栄養教諭)	2	必修	4年後期
計		18		29	25単位以上	

※教育の基礎的理解に関する科目等で、卒業単位に算入できる科目は「教育学概論」のみ。